

「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰

文部科学省では、全ての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、保護者の身近な地域における家庭教育支援活動の一層の推進を図るとともに、「家庭教育支援チーム」の優良事例の広報、研究の進展及び認知度の向上に資することを目的に、特色ある優れた活動を行っている「家庭教育支援チーム」を表彰しています。

今年度は、全国で20団体が、千葉県内からは1つの団体が特色ある優れた活動を行っている団体として認められ、令和6年2月に文部科学大臣表彰を受賞しました。

令和5年度 受賞団体

睦沢町家庭教育支援チーム（長生郡睦沢町）

【活動の概要】

核家族化や共働き、ひとり親家庭の増加、地域社会とのつながりの希薄化等が進んでいるため、子育てに悩みや不安を抱える保護者が孤立し、家庭教育が困難な状況が続いています。そうした中で、睦沢町家庭教育支援チームは、地域人材を活用することで身近な課題を掘り起こし、解決に向けた活動を行っています。さらに、家庭教育力の向上を通し、学校・家庭・地域が連携・協働するコミュニティ・スクールの推進にも寄与しています。

【特色ある取組】

① 保護者への学びの提供

小・中学校の家庭教育学級をはじめ、家庭教育講演会や、こども園の親子座談会、子育てサークルとの懇談会を実施し、情報交換をしています。保護者の意見や要望を聞きながら、家庭での不安解消や地域全体としての家庭教育の啓発に努めています。

② 地域の居場所づくり

学校の授業等になじめない児童の居場所として「フリースペースひだまり」の運営に携わり、児童の見守りや保護者との交流を通し、子育ての不安解消に努めています。

③ アウトリーチ型家庭教育支援

学校行事や学童保育、居場所づくり等を通じて、家庭教育に悩む家庭の情報を集め、チーム員がそれぞれのケースに対応しています。また、チーム全体でも情報を共有しながら対象家庭を地域の場へと引き込み、必要に応じて福祉部門とも連携しています。

④ 家庭教育アンケート

テーマを決めてアンケートを取り、家庭教育の状況把握をしています。保護者の意識や問題点を掘り起こし、結果を「家庭教育支援チームだより」にて周知しています。



＜親子座談会の様子＞

【今後の展望】

行事に参加できない保護者や家庭教育の意識が希薄な保護者もいることから、導入の切り口を変えるなどの工夫と、チームでの常設窓口(スマイル窓口)の開設、子どもと保護者がともに参加できるイベントなどを地域や企業等と連携して実施したいと考えています。また、各種アンケートを続けることにより、現役世代の考えの把握と家庭教育への意識づけを進めて、支援チームの活動の幅を広げていくこととします。

【お問い合わせ先】 教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 電話043-223-4167